

今月のことば

仏さまは
願いをかええて
くれないが
願いを解決
してくれる

(小池秀章)

龍谷大学非常勤講師

小池秀章 こいけひであき

元旦には、多くの浄土真宗のお寺で、元旦会ねだんえの法要が行われます。お参りに来た人は、仏(阿弥陀如来)さまに手を合わせ、お念仏します。しかし、お願いごとはしません。仮に、仏さまにお願いごとをしても、一切かなえてくれません。逆に、仏さまの方から、そんな自分勝手なお願いごとばかりしていないで、正しい道を歩んでくれと、願ってくださるのです。

つまり、仏さまに手を合わせということは、私の願いをかなえてもらうためではなく、仏さまの願いを聞かせてもらうということなのです。もう少し分かりやすく言うと、仏さま(真実に目覚めた者)の教えを聞き、私の在り方を見つめるといふことなのです。

では、お願いごとがある時は、どうしたらいいのでしょうか。そんな時も、仏さまに手を合わせ、南無阿弥陀仏とお念仏しましょう。しかし、例えば、仏さまに手を合わせ、お念仏したからといって、受験に合格するわけではありません。合格する人は合格するし、落ちる人は落ちます。けれど、合格しても落ちても、共に私の大切な人生だと受け止める力が与えられるのです。

仏さまに手を合わせ、お念仏する時、お金があっても無くても、健康でも病気でも、私の思うようになっても思うようにならないくても、みんな私の大切な人生だと受け止めて生きる、そんな世界に出遇わせてもらうことができます。

合掌